

品名		デビュー乳剤 (フェンブコナゾール乳剤 12.5%)				国連番号	3082		指針番号	171							
該当法規・危険有害性																	
消 防 法						火薬類 取締法		毒物及び 劇物取締法			高圧ガス 保安法		道路法				
類 別						品 名		火	爆	火	毒	劇	特定	一般	液化	施行令	
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	指定 可燃物	(法別表)		薬	薬	工 品	物	物	毒物	高 圧 ガ ス	石 油 ガ ス	第19条 の12,13 に該当
			●				第3石油類										
特 性		危 険 性			有 害 性						環 境 汚 染 性		性 状				
		禁 水 性	爆 発 性	可 燃 性	有 害 ガ ス 発 生			目・皮膚 に触れると 危険	河川への 流入注意		固 体	液 体	気 体	水 溶 性			
					常 温	加 熱 時	水 に 接 触										
		●			●			●		●		●					
<b>事故発生時の応急措置</b> ①車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。) ②事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③保護具を着用し、飛散防止・回収・消火を行う。																	
<b>緊急通報</b> 119 (消防署)                      110 (警察署)                      高速道路等の非常電話 [緊急通報例] 1. いつ                                  ○○時○○分頃ル乳剤 2. どこで                                ○○市○○地区(国・県・市)道○○線○○付近で 3. なにが                                「農薬のデビュー乳剤(フェンブコナゾール乳剤)」が 4. どうした                              飛散しています、飛散して火災になっています 5. ケガ人は                              ケガ人がいます(救急車をお願いします)      ケガ人はいません 6. 私の名前は                        ○○運送会社 ○○です																	
<b>緊急連絡</b> (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)																	
荷主会社		ダウ アグロサイエンス日本(株)															
住 所		東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー															
電 話		24時間受信 0120-001017															
運送会社																	
住 所																	
電 話		平日・昼間 休日・夜間															

品名	デビュー乳剤 (フェンブコナゾール乳剤 12.5%)	国連番号	3082	指針番号	171
----	-------------------------------	------	------	------	-----

## 災害拡大防止措置

特記事項	処理剤	砂、土等
------	-----	------

- 眼や皮膚に接触すると、刺激がある。
- 可燃性液体。
- 中毒事故の相談：(公財)日本中毒情報センター 大阪中毒 110 番 (☎ 072-727-2499)  
つくば中毒 110 番 (☎ 029-852-9999)

### 漏洩・飛散したとき

- 本品は刺激性があるため、ゴーグル型保護眼鏡、不浸透性手袋及び保護衣を着用する。蒸気やミストの発生個所では防毒マスク（有機ガス用）を着用する。
- 漏出物を土や砂で囲い、流出防止剤等に吸収させ、適切な容器に回収する。
- 引火源になりえるものは除去する。

### 引火・発火したとき

- 付近の住民等を風上に避難させ、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 自給式呼吸器その他の保護具を着用し、風上から作業する。
- 消火する場合は、水噴霧、炭酸ガス、粉末または泡消火剤を使用する。
- 消火排水は、河川へ流出させないこと。

### 救急措置

- 眼に入った場合は、すぐに 30 分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗眼を続ける。眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合は、汚染された衣類を脱ぎ去り、大量の水で 15～20 分間洗浄する。痛みが残るときは医師の処置を受ける。
- 吸入した場合は、すぐに空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合、医師の手当、診断を受ける。呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。
- 飲み込んだ場合は、すぐに医師の処置を受ける。医師の指示がない限り吐かせない。可能ならコップ1杯の水を少しずつ飲ませる。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。